

# 考古学 × DNA

## 日本人を考える

第1部 | 13:40 ~ 15:10

### 考古学の最新成果

### 「武蔵野台地から日本人の起源を探る」

小田 静夫 先生 (考古学者)



1942年東京生まれ。国学院大学卒業。明治大学大学院修了。総合研究大学で文学博士号。東京都庁に勤務。武蔵野の野川遺跡の発掘を通じ、旧石器から縄文までの文化層を明らかにし、その「武蔵野編年」は全国編年の基礎となった。旧石器捏造事件を発覚以前に論文で鋭く指摘したが、逆に、強い圧力を受け、やむなく黒潮文化研究に方向転換し、黒潮圏の考古学を確立した。東京都庁を定年退職。日本第四紀学会員。元東京大学講師

最近の武蔵野台地の旧石器遺跡の発掘調査で、約3万5千年前以前の日本最古級の石器群が判明してきました。その内容は、礫器、ナイフ状尖頭器、磨石などを特徴としたもので、東南アジア島嶼部（スンダランド、サフルランド）の旧石器文化に酷似しています。現在、日本人の渡来ルートとして、北海道ルート、対馬ルート、沖縄ルートという3つが人類学方面から提示されています。今回、考古学方面から黒潮海流を北上した、日本列島最古の旧石器人の軌跡（沖縄ルート）の証左が見えてきました。

第2部 | 15:20 ~ 16:50

### DNAの最新成果

### 「ヤポネシア人(日本列島人)はどこから来たか」

齋藤 成也 先生 (国立遺伝学研究所集団遺伝研究室 教授)



1957年福井県生まれ。東京大学理学部生物学科人類学課程卒業、東京大学理学系研究科人類学専攻修士課程修了、テキサス大学ヒューストン校博士課程修了 (Ph.D.)。東京大学理学部助手、国立遺伝学研究所進化遺伝研究部門助教をへて、2002年より同研究所集団遺伝研究部門教授。総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻と東京大学理学系研究科生物科学専攻の教授を兼任。主な著書は『核 DNA 解析でたどる日本人の源流』、『歴史主義宣言』、『ゲノム進化学入門』、『DNA から見た日本人』など。

先端科学を駆使した知的謎解きに挑む！  
アフリカを出た人類の祖先は、いかにして日本列島にたどり着きヤポネシア人となったのか？ 大陸東アジア人や東南アジア人も遠い、縄文人のDNAの特異性とは何か？ 縄文時代人・弥生時代人とは異なる集団が存在したのか？ さまざまな証拠を組み合わせて導かれる日本人の実像を、新学術領域研究ヤポネシアゲノムの領域代表である齋藤成也先生が最新の情報で説明いたします。

# 8月24日(土)

## 13:30 スタート [13:00 受付開始]

\*当日受付 (先着順/定員160名)

※定員に達し次第締め切れる場合がございます。ご了承ください。

### 参加費

全国邪馬台国連絡協議会

会員 1,500円 一般 2,000円 学生 1,000円

\*当日のご入会も歓迎いたします。

## 全国邪馬台国連絡協議会 東京支部

詳細は <https://www.facebook.com/tokyoyamatai>

### 会場

### 文化シャッターBXビル 多目的ホール

- 都営地下鉄三田線  
「春日駅」A6出口から徒歩3分
- 都営地下鉄大江戸線  
「春日駅」A6出口から徒歩3分
- 東京メトロ南北線  
「後楽園駅」8番出口から徒歩7分
- 東京メトロ丸ノ内線  
「後楽園駅」4b出口から徒歩12分
- JR総武線「水道橋駅」  
お茶の水側出口から徒歩15分

